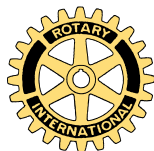


THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2020～2021年度 国際ロータリー ホルガー・クナーク 会長テーマ

Rotary Opens Opportunities ロータリーは機会の扉を開く

創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 神野 公秀
幹事 鬼頭 一浩
会報委員長 池田 直樹

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第3086回例会プログラム

[当年度 = 3 回目；当月 = 3 週目]

2020年（令和2年）7月20日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……………〈会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱
……………それこそロータリー
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食事

- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告
8. 幹事報告
9. 出席報告
第4四半期皆出席の発表（出席委員会）
10. 委員会報告
11. ニコニコボックス報告
12. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(7/27) ……
クラブ協議会並びに懇親会
(親睦活動委員会)
18:00～ 刈谷市総合文化センター
401～402研修室
(クラブ協議会)
小ホール（懇親会）
(8/3) ……
卓話「城下町に美味しいものあり」
講師 株式会社名鉄観光サービス
商品事業本部国内旅行部
副部長 兼岩 浩 様
(紹介者 嶋津 孝久 会員)

- 13:00 13. 本日のプログラム
卓話「花の街とよあけ」と
「花の文化立国日本」
講師 愛知豊明花き流通協同組合
理事長 永田 晶彦 様
(紹介者 加藤 英樹 会員)

14. 謝辞
15. 点鐘……………〈会長〉
16. 閉会宣言

13:30 17. 散会

出席

会員総数 94名 出席免除 24名
出席義務者+免除者の内例会出席者 87名
欠席 4名 出席率 95.40%
前々回(7/6)の修正出席率 100%

会長報告

- 1) 国際ロータリーより、マルチプル・ポールハリス・フェロー2回の認証ピンバッチが小林祥浩会員、霜出俱弘会員、杉浦文雄会員、毛受豊会員に、1回が下谷敏朗会員、神谷強会員に届きました。



写真左から

小林 祥浩 会員 霜出 俱弘 会員
毛受 豊 会員 神野 公秀 会長
下谷 敏朗 会員 神谷 強 会員

同じく、ポールハリス・フェローの認証状とピンバッチが、加藤繁則会員、磯部一智会員、中川耕児会員、佐野彰彦会員に届きました。



写真左から 中川 耕児 会員
磯部 一智 会員 神野 公秀 会長
加藤 繁則 会員 佐野 彰彦 会員

- 2) 米山記念奨学会より、第41回米山功労クラブの感謝状が届きました。
- 3) 7月16日木曜日、中京ゴルフ倶楽部石野コースにて、7月ゴルフ同好会が開催されました。グロス85、ネット70.6のスコアで加藤英樹会員が優勝されました。
- 4) 米山記念奨学会より、米山功労者感謝状が届いています。



霜出 俱弘 会員

委員会報告

●親睦活動委員会

- 1) クラブ協議会後の19:00より懇親会を刈谷市総合文化センター・小ホールで開催致します。よろしくお願ひ致します。

●社会奉仕委員会

- 1) 地区より熊本豪雨災害の義捐金のお願いが届いています。7月4日に熊本県人吉地区を襲った大雨で日本三大急流の一つ球磨川の氾濫により現在65名死亡、2名の行方不明者が出ています。甚大な被害に対して義捐金の要請が届いています。ボックスをまわしますのでご協力をお願いします。

会長あいさつ

神野 公秀



雨の降る日が多く、すっきりしない日が続きますが、これ以上の災害がおきない事と、早く梅雨があけてくれる事を願ってやみません。

15日の日に、鬼頭幹事と本年度30周年を迎えられた、知立ロータリークラブの例会にお邪魔をさせていただきました。コロナ対策で、検温の実施、広い会場での開催、テーブル配置、配席も工夫をされ例会運営をされていました。しかし、いつも通り変わらず温かく迎えて頂き、楽しい時間を過ごさせていただきました。(と同時に)例会の在り方であったり、知立クラブと刈谷クラブの関係性の重要性を改めて認識をさせていただきました。

本日、7月20日は平年なら「海の日」で例会はお休みですが、今年は東京オリンピック開催にあたり、23日が「海の日」、24日が「スポーツの日」とされました。残念なことに、「コロナウイルス」の影響でオリンピックは延期となってしまいましたが、有難いことに、例会は予定通り多く開催することが出来た事に感謝です。

今日から2週間あまりは「土用」。初日となる今日は「土用の入り」です。土用は、立春・立夏・立秋・立冬前の18日間ですが、春夏秋冬、それぞれの季節の変わり目です。「春は木(もく)、夏は火(か)、秋は金(ごん)、冬は水(すい)、そして季節の変わり目となる18日間は土(ど)が支配する」という中国の陰陽五行説に由来する雑節です。

土用の丑の日に鰻を食べて精をつける習慣が生まれたのは江戸時代で、蘭学者 平賀源内が、『『う』のつく物を丑の日に食べると夏負けしない』という伝承から着想を得て、夏場の客不足に悩む鰻屋に、「本日土用の丑の日」という看板を掲げさせたのが始まりだといわれています。発明家としても知られる、平賀源内のアイデアは流石ですが、ほかの「う」の付く食べ物から、夏を乗り切るパワーをもらうのもひとつの手です。疲労回復に効果のある梅干し、消化の良いうどん、ほてった身体を冷やしてくれるウリなどが心身をいたわってくれます。今日のお弁当には、寺田会場委員長のご配慮で、一切れではありますが、「うなぎ」と「梅干し」を入れて頂きました。

また、丑の日に菖蒲や薬草を入れた「丑湯」(うしゆ)に浸かるのも、夏負けしないように生まれた習慣のようです。古来のならわしから、暑さに負けない力を授かり、梅雨が明けると共に暑くなる日々を、元気に乗り切りたいと思います。

「花の街とよあけ」と「花の文化立国日本」

講師 愛知豊明花き流通協同組合
理事長 永田 晶彦 様



まずは自己紹介に替えて、私の職場、愛知豊明花き地方卸売市場の紹介と地元地域での活動について簡単にお話させていただきます。その後、日本の花の文化に移ります。

日本の花の歴史は大和・奈良時代、当時の先進国であった唐から花に関

する文化が流入したことで起こりました。はじまりこそは中国のそれに大きく後れを取ったものの、日本では和歌をはじめ、数々の文学・芸術が育つにしたがって、花の文化も大きく成長し、江戸時代には日本の花文化レベルは世界最高水準にまで達しました。このことは日本国内で花の歴史を勉強されている方々はもとより、他先進国の花の研究者はよくご存じなのですが、残念なことに、日本国内の一般にはあまり周知されていないのが現実です。せっかく世界最高峰の「花の文化」という文化資産を母国に有しておきながら、それを知らず、味わわずに日々を過ごしているのがいかにもったいないことです。本日は日本にある伝統的な花の文化背景をその種類ごとにお話しさせていただきます。少々時間を「花の文化立国日本」を知って、楽しむことにあてさせていただきますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

全世界に猛威を振るった新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、海外との交流機会が大きく制限されることになったものの、それまでは年々海外から日本へやって来られる人が増え、日本政府観光局の発表によれば、訪日外客数は二十一世紀初頭の十六年間で6倍になり、その多くを占めるのが中国をはじめとする日本の近隣諸国の方々ということです。日本の花文化も唐（中国）を筆頭に近隣諸国から伝わったものから発達したものが少なくなく、日本の花文化を知ることによって近隣諸国の文化に触れ、来日される方々の国に関係のある話題を得ることもあります。訪日観光客の多くは、日本の文化に触れ「日本らしさ」の良いところを吸収して帰国されます。本日のお伝えしたことで、拾えるものがあるようでしたら、未来の訪日観光客の皆さんに、日本の花の文化についてもお伝えいただければ、これ幸いです。

令和2年7月16日(木)

於：中京ゴルフ倶楽部石野コース

成績	氏名	G	H	N
優勝	加藤 英樹	85	14.4	70.6
2位	小林 祥浩	99	27.8	71.2
3位	新海 伸二	88	15.6	72.4
B B	中林 久美	106	25.2	80.8

